

平成28年度 第2回奈良県市町村長サミット

医療・介護費の地域差について

平成28年10月6日(木) 於:桜井市立図書館

【目次】

医療・介護費の地域差について	1
医療費分析	1
介護費分析	5
総括並びに今後の取組	8
地域包括ケアシステムの構築	9
高齢化の状況等	10
今後の医療介護提供体制	18
地域包括ケアシステム	22
在宅医療・介護連携の推進に向けた県・市町村の取組	30

参考資料

市町村別、診療種別、地域差指数（年齢補正後）

（市町村国民健康保険＋後期高齢者医療制度）

	計		入院		入院外＋調剤		歯科	
		順位		順位		順位		順位
奈良市	0.983	19	0.969	22	0.990	16	1.037	7
大和高田市	1.023	5	1.060	4	1.002	12	0.924	19
大和郡山市	1.005	11	1.019	13	1.000	14	0.951	16
天理市	0.919	31	0.900	35	0.935	27	0.919	20
橿原市	1.010	10	1.010	15	1.022	7	0.909	22
桜井市	0.977	21	0.928	33	1.028	4	0.909	23
五條市	0.968	24	0.996	17	0.957	23	0.837	29
御所市	1.044	2	1.116	2	0.982	19	1.009	10
生駒市	0.995	15	0.956	27	1.022	6	1.072	2
香芝市	1.031	3	1.049	7	1.014	8	1.042	5
葛城市	0.987	17	0.995	18	0.985	18	0.944	17
宇陀市	0.895	36	0.891	36	0.909	30	0.793	32
山添村	0.793	38	0.743	38	0.845	36	0.768	33
平群町	0.978	20	0.948	29	1.005	11	0.981	14
三郷町	1.050	1	1.025	11	1.071	1	1.064	3
斑鳩町	0.991	16	0.973	21	1.008	10	0.987	13
安堵町	0.999	13	0.967	24	1.028	5	0.992	12
川西町	0.944	29	0.969	23	0.924	29	0.915	21
三宅町	0.939	30	0.942	31	0.938	25	0.934	18
田原本町	0.911	33	0.862	37	0.961	21	0.846	26
曽爾村	0.910	34	0.954	28	0.877	34	0.795	31
御杖村	0.748	39	0.667	39	0.826	38	0.755	34
高取町	1.015	9	1.131	1	0.907	31	1.014	9
明日香村	0.984	18	1.032	10	0.948	24	0.883	24
上牧町	1.024	4	1.061	3	0.989	17	1.036	8
王寺町	1.018	7	0.965	25	1.054	2	1.139	1
広陵町	1.000	12	1.005	16	1.001	13	0.953	15
河合町	1.017	8	1.035	9	0.997	15	1.055	4
吉野町	0.953	27	0.959	26	0.957	22	0.840	28
大淀町	1.020	6	1.023	12	1.036	3	0.841	27
下市町	0.973	22	0.944	30	1.014	9	0.831	30
黒滝村	0.901	35	0.916	34	0.873	35	1.037	6
天川村	0.955	26	1.017	14	0.890	33	0.995	11
野迫川村	0.996	14	1.051	6	0.964	20	0.750	35
十津川村	0.911	32	0.982	19	0.844	37	0.881	25
下北山村	0.853	37	0.934	32	0.802	39	0.554	39
上北山村	0.970	23	1.045	8	0.926	28	0.672	38
川上村	0.945	28	0.979	20	0.936	26	0.684	37
東吉野村	0.966	25	1.058	5	0.902	32	0.700	36

【全国平均＝1】

<間接法による補正>

平成25年度医療費分析

■地域差指数について

（国保＋後期高齢者医療制度の市町村の1人当たり医療費について、人口の年齢構成の相違による分を補正し、全国を1として、指数化）

・最も高いのは、三郷町で1.050、最も低いのは、御杖村で0.748となっている。

診療種別に見ると、

・入院は、最も高いのが、高取町で1.131、最も低いのが、御杖村で0.667

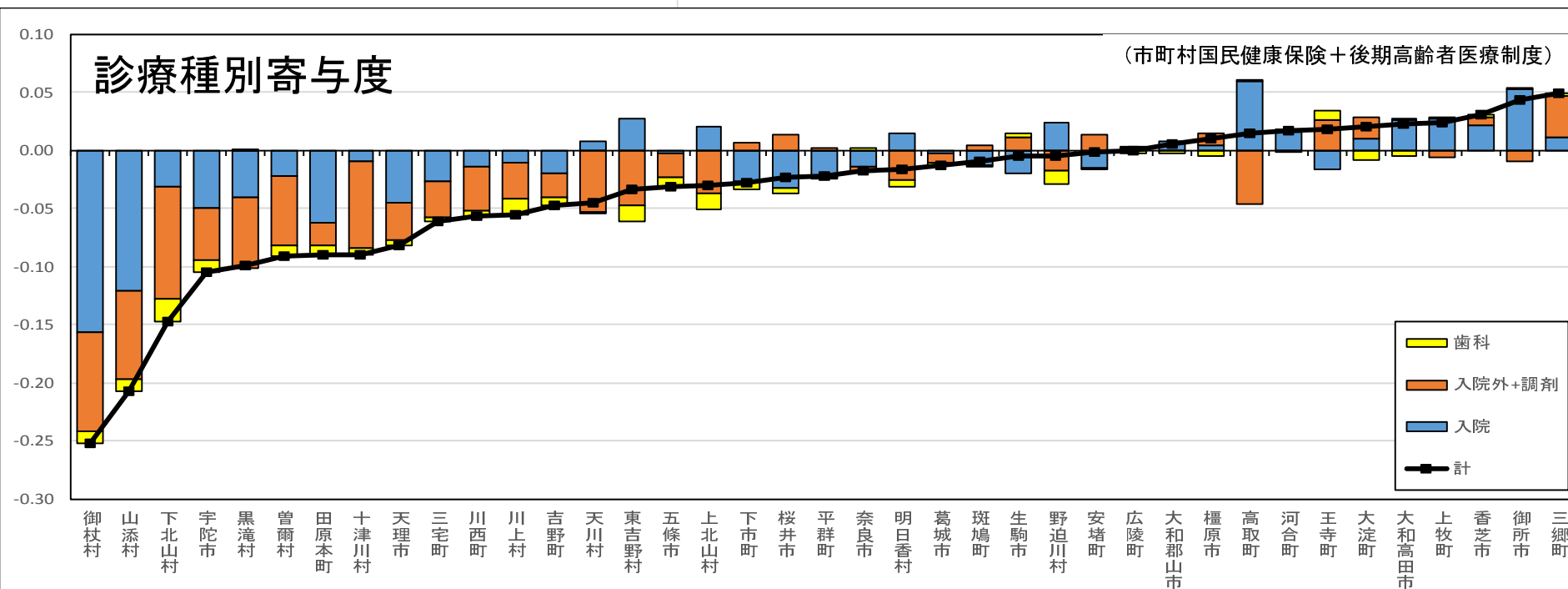
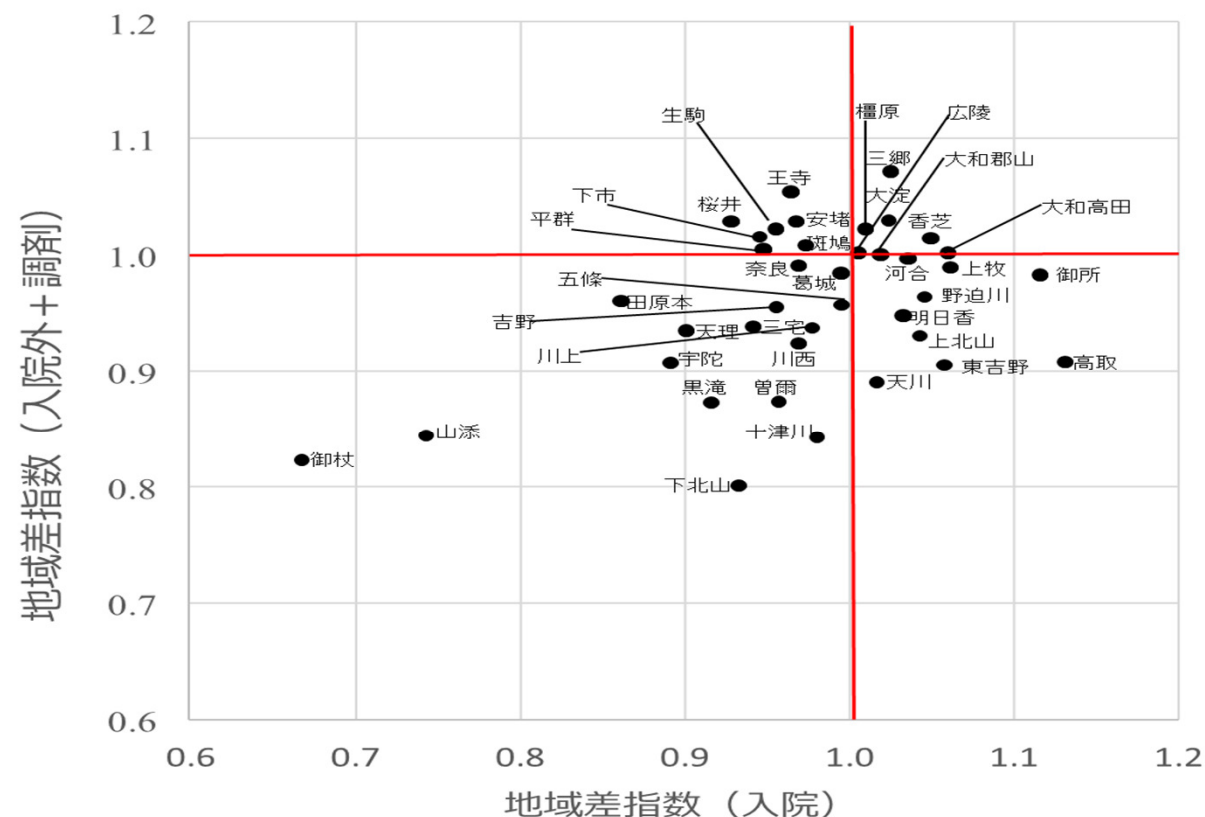
・入院外＋調剤は、最も高いのが三郷町で1.071、最も低いのが、下北山村で0.802

・歯科は、最も高いのが、王寺町で1.139、最も低いのが、下北山村で0.554となっている。

・入院と入院外＋調剤の相関関係は、次頁の分布図のとおり、顕著には認められない。

◇市町村別地域差指数に対する各種寄与度

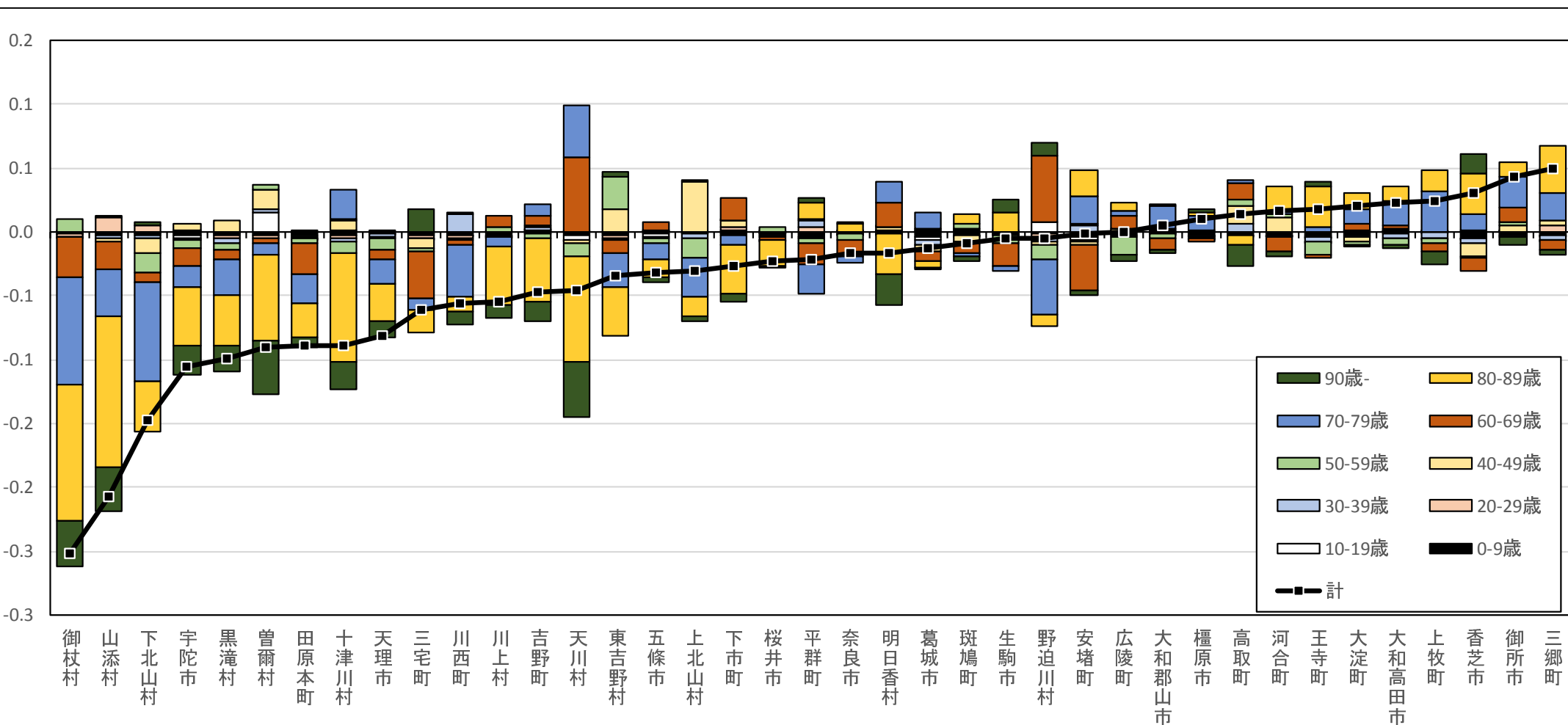
■地域差指数の診療種別寄与度を見ると、入院外+調剤のマイナスへの寄与度が比較的大きい。



■ 地域差指数の年齢階級別寄与度をみると、70歳以上79歳以下、80歳以上89歳以下の寄与度が比較的大きい。

年齢階級別寄与度

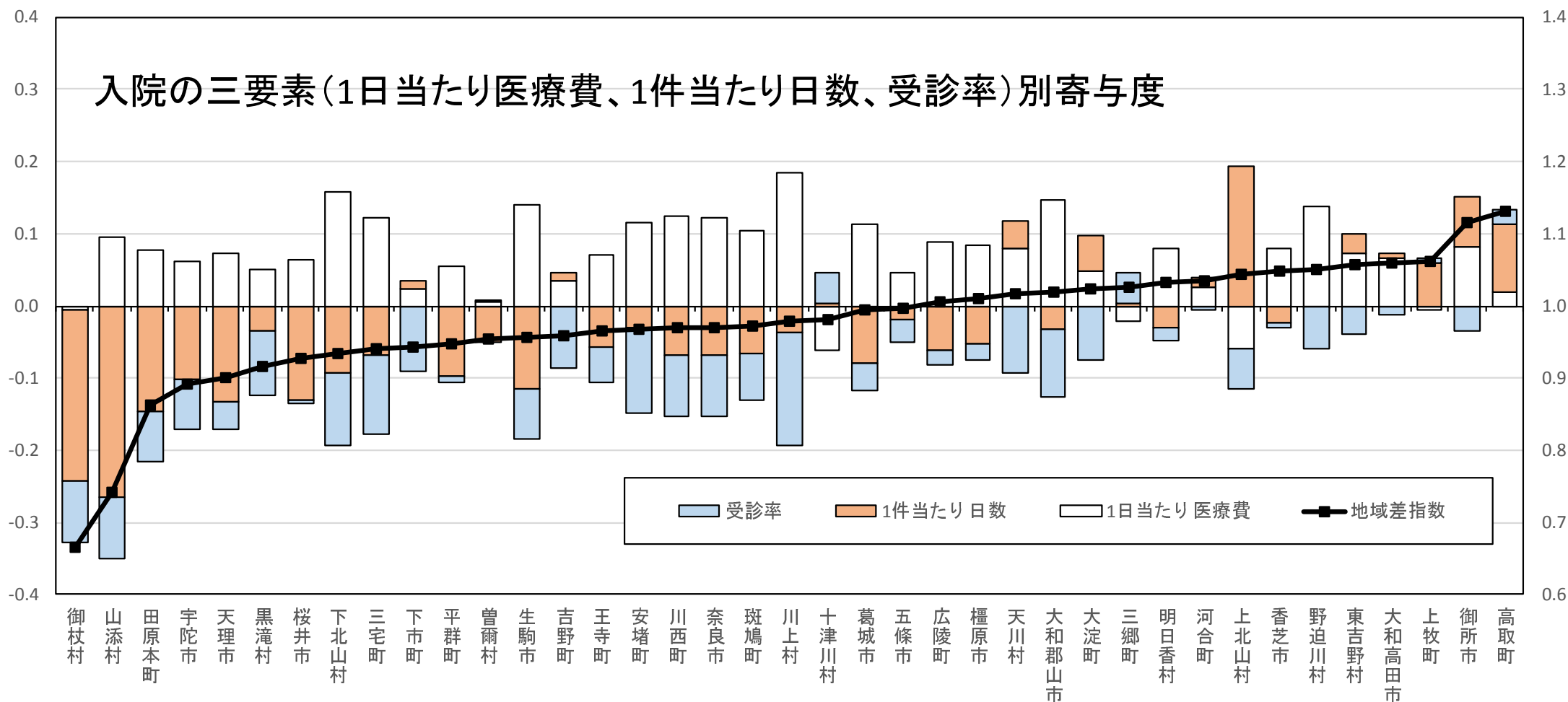
(市町村国民健康保険＋後期高齢者医療制度)



■ 地域差指数の三要素別寄与度をみると、入院について、本県では、1日当たり医療費が高く、受診率、1件当たり日数は少ない傾向がある。

(市町村国民健康保険＋後期高齢者医療制度)

入院の三要素(1日当たり医療費、1件当たり日数、受診率)別寄与度



【奈良県】第1号被保険者1人当たり介護費(年齢調整後)

平成26年度	計		施設		居住系		在宅	
	万円	順位	万円	順位	万円	順位	万円	順位
全国計	27.4		9.9		3.2		14.3	
奈良県	26.2		9.7		2.8		13.7	
奈良市	26.1	21	7.6	38	3.4	9	15.1	3
大和高田市	29.0	3	11.9	14	2.5	17	14.6	5
大和郡山市	27.7	8	9.8	23	3.1	12	14.8	4
天理市	27.1	11	8.9	31	2.6	14	15.6	1
橿原市	23.8	31	8.8	34	2.4	19	12.6	16
桜井市	26.0	23	9.6	27	2.3	21	14.0	10
五條市	27.1	13	12.6	11	2.4	20	12.1	20
御所市	22.4	32	9.7	26	1.8	31	10.9	24
生駒市	26.0	24	8.9	32	3.0	13	14.1	9
香芝市	24.4	29	10.1	21	2.4	18	11.8	22
葛城市	24.3	30	10.2	19	1.6	34	12.4	18
宇陀市	27.1	12	13.7	8	2.0	26	11.3	23
山添村	18.0	38	9.3	28	1.2	37	7.5	33
平群町	26.5	16	8.9	33	4.7	4	12.9	14
三郷町	26.3	19	8.1	37	3.1	11	15.1	2
斑鳩町	27.4	9	10.8	17	3.4	8	13.2	13
安堵町	28.8	6	13.2	9	2.0	27	13.7	12
川西町	27.3	10	11.3	15	3.5	7	12.5	17
三宅町	28.1	7	11.3	16	2.5	16	14.4	6
田原本町	25.7	26	9.7	25	1.8	32	14.2	8
曽爾村	26.3	20	15.9	3	4.7	5	5.7	38
御杖村	22.0	33	8.1	36	6.4	3	7.5	34
高取町	25.8	25	10.2	20	1.9	30	13.7	11
明日香村	20.8	36	9.2	30	1.0	38	10.7	27
上牧町	21.5	35	8.7	35	2.5	15	10.3	29
王寺町	28.9	4	10.0	22	4.5	6	14.4	7
広陵町	26.7	15	12.5	12	2.2	22	12.1	21
河合町	24.6	28	7.3	39	6.5	2	10.8	26
吉野町	25.1	27	10.3	18	2.1	24	12.7	15
大淀町	29.4	1	15.4	4	1.7	33	12.3	19
下市町	28.8	5	16.1	2	1.9	29	10.8	25
黒滝村	26.5	17	15.4	5	0.7	39	10.4	28
天川村	29.3	2	19.1	1	2.1	25	8.1	32
野迫川村	26.4	18	9.8	24	11.9	1	4.7	39
十津川村	26.8	14	14.1	6	3.1	10	9.6	31
下北山村	19.0	37	11.9	13	1.2	36	5.8	37
上北山村	22.0	34	12.6	10	2.1	23	7.3	35
川上村	17.6	39	9.2	29	1.3	35	7.2	36
東吉野村	26.1	22	13.9	7	2.0	28	10.2	30

平成26年度介護費分析

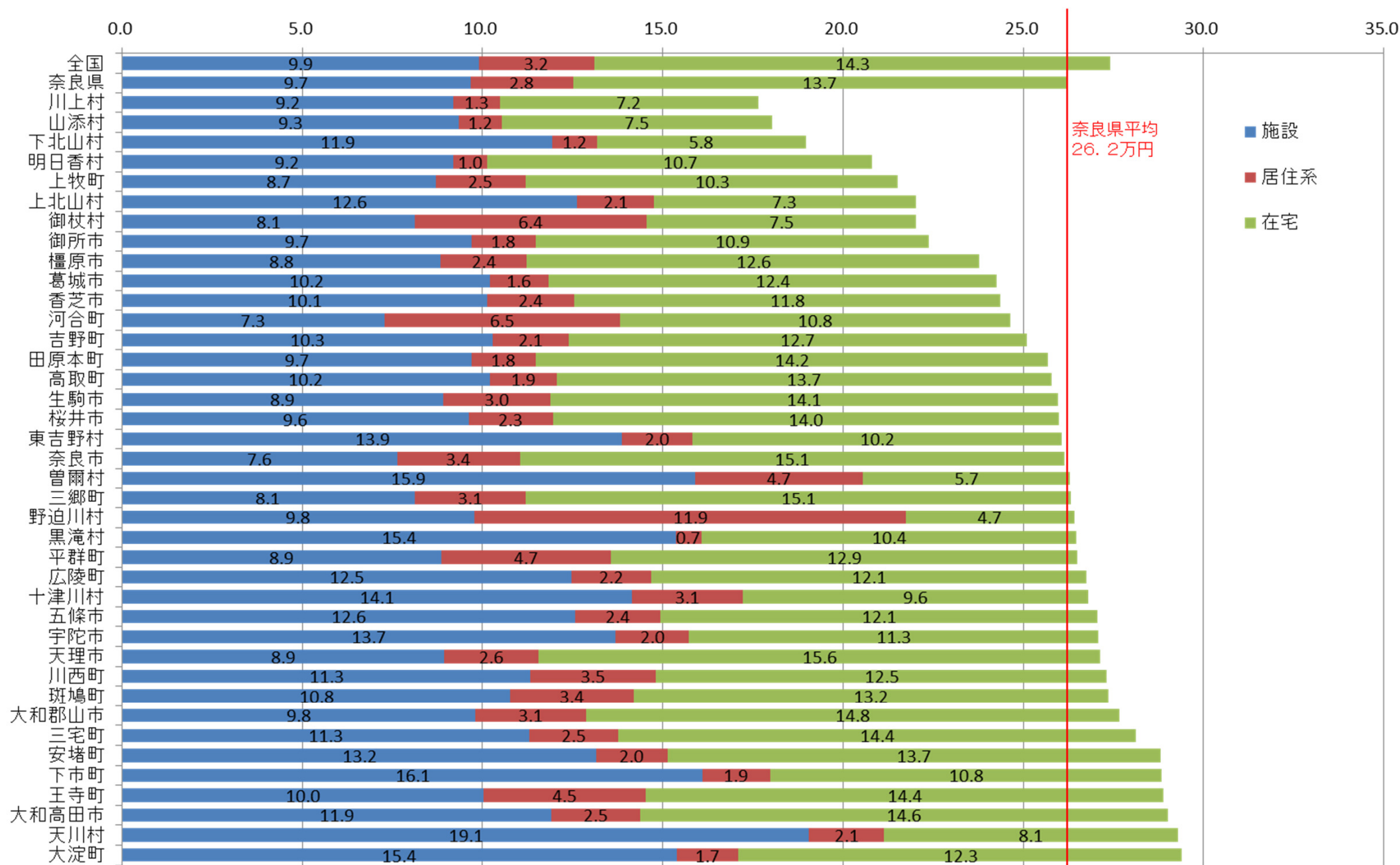
奈良県における第1号被保険者1人当たり介護費について、人口の年齢構成の相違による分を全国一律と仮定して（年齢調整）算出。

○奈良県の平均は、26.2万円（全国平均27.4万円）だが、市町村別地域差を見ると、29.4万円（大淀町）～17.6万円（川上村）と大きな差が見られる。

○また、介護費に影響を与えるサービス提供体制（施設、居住系、在宅）についても、市町村別地域差が見られる。

施設サービスでは、19.1万円（天川村）～7.3万円（河合町）、在宅サービスでは、15.6万円（天理市）～4.7万円（野迫川村）となっている。

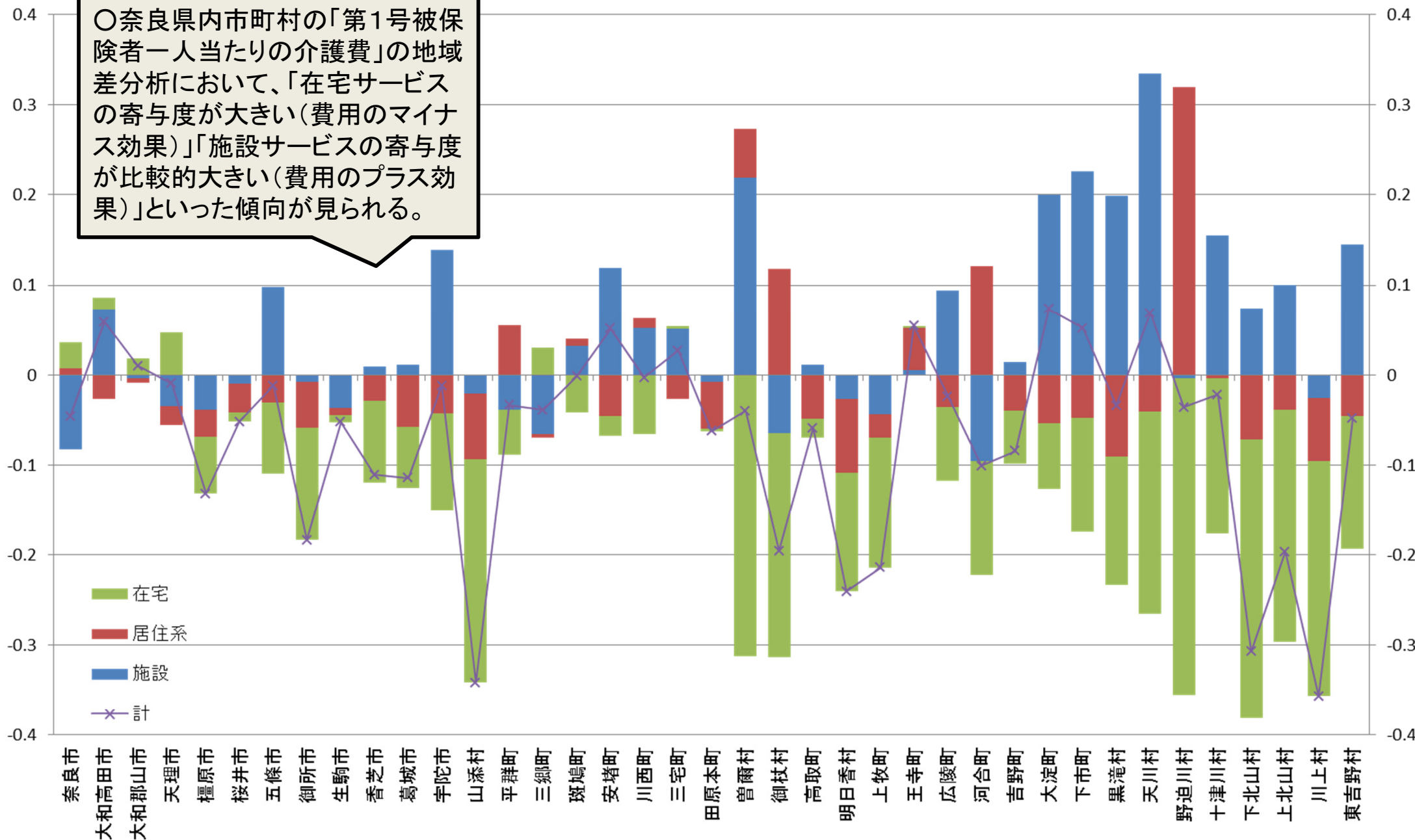
【奈良県】第1号被保険者1人当たり介護費の地域差(年齢調整後)



注：本県分の介護費には、介護レセプトデータに含まれない費用(住宅改修費等)は未計上(全国データと一致しない場合あり)

【奈良県】第1号被保険者1人当たり介護費の地域差指数(年齢調整後)

○奈良県内市町村の「第1号被保険者一人当たりの介護費」の地域差分析において、「在宅サービスの寄与度が大きい(費用のマイナス効果)」「施設サービスの寄与度が比較的大きい(費用のプラス効果)」といった傾向が見られる。



注: 本県の地域差指数の中間値は全国平均値を使用

医療費・介護費についての総括並びに今後の取組

- ・奈良県内市町村の**医療費**の地域差分析において、「入院の寄与度が比較的大きい」、「70歳以上89歳以下の寄与度が比較的大きい」、「入院の受診率の寄与度が大きい」といった全国都道府県間の地域差と同一の傾向が見られる。
- ・他方、本県には入院をはじめ「1日当たり医療費が高い」という特徴があるが、入院について疾病分類別、病床種類別、病床機能別、診療行為別などに着目して、更なる要因分析を進め、対応策を検討。外来についても、薬剤費、慢性疾患等の分析を進め、地域差への対応策を検討。
- ・こうしたデータ分析に基づき、医療提供者側に働きかけ、医療機能の分化・連携（病床の転換等）を進めるほか、後発医薬品についても一層の使用を推進するなど積極的な地域差の是正を図る。
- ・奈良県内市町村の「第1号被保険者一人当たりの**介護費**」の地域差分析において、「在宅サービスの寄与度が大きい（費用のマイナス効果）」「施設サービスの寄与度が比較的大きい（費用のプラス効果）」といった傾向が見られる。この傾向は、全国都道府県間の地域差より顕著に現れている。
- ・地域の医療介護の提供体制のあるべき姿および診療行為を含めた地域差の是正の必要性等について市町村に理解を求めるとともに、医療・介護を見渡した議論・取組を展開。



医療・介護の連携、地域包括ケアシステムの構築